

## 参加者募集 医薬品安全監視・安全対策セミナー一般入門コース

一般社団法人 くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、理事長：黒川 達夫）は、平成28年度から開始する新規事業のひとつとして、「医薬品安全監視・安全対策セミナー一般入門コース」を開設します。

このコースは、本年11月から4回にわたってシリーズで開催し、製薬企業安全性担当者、CRO等の医療用医薬品の安全性に関わる業務に携わり、ある程度の実務経験を有する方を対象とします。

内容は、安全対策の重要性や戦略、RMPの立案、データベースの活用などを採り上げ、講師は厚生労働省や医薬品医療機器総合機構、大学、製薬企業ならびに患者会などから幅広く募りました（詳細は2ページを参照）。

### 医薬品安全監視・安全対策セミナー一般入門コース 概要

セミナーの目的	医薬品安全性監視および安全対策に関して体系的・実践的に学習できる場を提供し、国民の益々高まる医薬品の安全性に対する期待に応える人材を育成することを目的に、広く会員企業以外からも参加可能とした。
受講料（1人1回）	会員企業 1000円、非会員企業 5000円
定員	各回100名（定員になり次第締め切らせて頂きます）
申込み方法	以下のページにアクセスのうえ、専用フォームからお申込ください。 <a href="http://www.rad-ar.or.jp/pharmacoepidemiology/pv.html">http://www.rad-ar.or.jp/pharmacoepidemiology/pv.html</a>
開催期間	2016年11月～2017年2月
開催場所	東京大手町（各回の項参照）

医薬品安全監視・安全対策セミナー一般入門コース開催日時・会場

開催日・開催場所	カリキュラム	講師
<b>第1回 2016年11月2日(水)</b> 場所: 大手町サンスカイルーム A (東京都千代田区大手町2丁目6番1号 朝日生命大手町ビル27階) <a href="http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm">http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm</a> 申込み締切: 10月26日(水)	(1) 安全対策の重要性と難しさ	くすりの適正使用協議会 黒川理事長
	(2) 安全対策の国際的な動き	第一三共株式会社 オンコロジー臨床開発部 斎藤宏暢部長
	(3) 薬害被害者の立場から望む安全対策(仮題)	公益財団法人いしずえ 増山ゆかり常務理事
<b>第2回 2016年12月6又は7 詳細未定</b> (開催日変更の可能性あります)	(1) 安全対策の課題と戦略(仮題)	厚生労働省安全対策課 (依頼中)
	(2) 医療消費者・患者からの期待	一般社団法人全国がん患者団体連合会 天野慎介理事長
	(3) 安全対策の歴史と将来	くすりの適正使用協議会 藤原副理事長
<b>第3回 2017年1月18日(水)</b> 場所: 大手町サンスカイルーム E (東京都千代田区大手町2丁目6番1号 朝日生命大手町ビル24階) <a href="http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm">http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm</a> 申込み締切: 1月11日(水)	(1) RMPの立案と実施	中外製薬株式会社 医薬安全性本部 高橋洋一郎部長
	(2) リサーチクエスチョンを踏まえた適切な製販後調査の実施(仮題)	慶應義塾大学薬学部 漆原尚巳教授
	(3) データベースの活用・データマイニング	くすりの適正使用協議会 海外情報分科会 松田副委員長
<b>第4回 2017年2月10日(金)</b> 場所: 大手町サンスカイルーム A (東京都千代田区大手町2丁目6番1号 朝日生命大手町ビル27階) <a href="http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm">http://www.sunskyroom.jp/otemachi.htm</a> 申込み締切: 2月3日(金)	(1) 副作用症例評価に必要な情報	医薬品医療機器総合機構 堀明子課長
	(2) 安全対策の立案とその実施	医薬品医療機器総合機構 佐藤玲子次長
	(3) 企業からの安全性情報の活用	東京大学医学部附属病院薬剤部 大野能之副薬剤部長
	(4) 本セミナー受講の皆様へ	くすりの適正使用協議会 黒川理事長

1コマ1時間、質問15分

(1) 13:00~14:15 (2) 14:30~15:45 (3) 16:00~17:15 (4) 17:15~17:30

※講師は変更の可能性あります。

## ■一般社団法人 くすりの適正使用協議会とは

一般社団法人 くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989年に当時の研究開発指向型製薬企業11社によって設立されました。創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり<sup>®</sup>」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。

2012年度からは「医薬品リテラシーの育成と活用」をキーコンセプトに活動を行っています。

<http://www.rad-ar.or.jp>

### 【製薬企業会員】

旭化成ファーマ(株) アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) アッヴィ(同) エーザイ(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株) 協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株) サノフィ(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株) 武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 東和薬品(株) 日本新薬(株) ノバルティス ファーマ(株) ノボ ノルディスク ファーマ(株) マルホ(株) Meiji Seika ファルマ(株) (23社、五十音順)

【賛助会員】 シミック株式会社 株式会社ズー (2社)

【個人会員】 (5名)

以上